

# 平成25年度 第3回宇都宮市生涯学習センター運営審議会

日 時：平成26年3月17日（月）

午前9時30分～

場 所：宇都宮市役所14階A会議室

---

## 次 第

---

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

#### （1）報告事項

① 平成26年宇都宮市成人式の実施状況について

資料1

② 「地域かがやきプロジェクト」の実施状況等について

資料2

#### （2）協議事項

① 平成26年度生涯学習センター事業計画（案）について

資料3

② 生涯学習コーディネーター制度の見直しについて

資料4

#### （3）その他

① 平成25年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況等について

資料5

② 平成25年度宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況等について

資料6

### 4 そ の 他

### 5 閉 会

## 宇都宮市生涯学習センター運営審議会委員

No.	氏 名	役職名等（選出生涯学習センター）
1	お お や や す ひ ろ 大矢 裕啓 (副委員長)	中央地区体育協会理事（中央生涯学習センター）
2	た け う ち り つ 竹内 律	陽東地区まちづくり協議会事務局長（東生涯学習センター）
3	い と う し ょ う い ち 伊藤 昭一	宇都宮市生涯学習コーディネーター（東生涯学習センター）
4	は し も と か つ こ 橋本 克子	富士見地域富士見婦人会会長（西生涯学習センター）
5	な か や ま ひ ろ し 中山 弘	陽光地区連合自治会会長（南生涯学習センター）
6	み や も と は る ひ さ 宮本 明尚	細谷小学校地域協議会委員（北生涯学習センター）
7	よ し だ お さ む 吉田 治	平石地区まちづくり協議会会長（平石生涯学習センター）
8	の ぎ き え い ぞ う 野崎 栄三	城山地区コミュニティ協議会会長（城山生涯学習センター）
9	う が じ ん も と み 宇賀神 源泉	雀宮地区自治会連合会会長（雀宮生涯学習センター）
10	さ か も と の ぼ る 坂本 登	豊郷地区連合自治会会長（豊郷生涯学習センター）
11	あ か さ か せ つ こ 赤坂 節子	民生委員・児童委員（河内生涯学習センター）
12	は せ が わ き ょ う こ 長谷川 京子	中央生涯学習センター利用団体代表（中央生涯学習センター）
13	も り の み つ る 森野 満	南生涯学習センター利用者連絡協議会会長（南生涯学習センター）
14	く ぼ い よ う こ 久保井 陽子	上河内生涯学習センター利用団体代表（上河内生涯学習センター）
15	さいとう え み こ 齋藤 恵美子	宇都宮市立姿川第二小学校長（小学校長会）
16	かたぎり あきら 片桐 晃	宇都宮市立姿川中学校長（中学校長会）
17	い い の た か み ち 飯野 貴道	宇都宮青年会議所理事
18	ますぶち ゆ き お 増渕 幸男 (委員長)	大学講師
19	き し し ん す け 岸 伸輔	公募委員
20	う が じ ん み つ お 宇賀神 光夫	公募委員

## 平成26年宇都宮市成人式について（実施状況報告）

### ◎ 趣 旨

平成26年宇都宮市成人式の実施状況について報告するもの

### 1 開催日時及び会場

平成26年1月12日（日） ホテル・結婚式場等10施設，25中学校区会場で実施

・午前開催（10:00～12:00）

14会場／旭・陽南・星が丘・陽東・宮の原・瑞穂野・豊郷・晃陽・姿川・雀宮・  
鬼怒・上河内・古里・河内中学校区会場

・午後開催（14:00～16:00）

11会場／一条・陽北・陽西・泉が丘・清原・横川・国本・城山・宝木・若松原・  
田原中学校区会場

（1）式典（約20分）

「激励のことば」 市長又は市長ビデオメッセージ

「お祝いのことば」市議会議長・議長代理

「誓いのことば」新成人代表者 など

（2）地域交流事業（式典終了後～）

地域の特性を活かした事業，懇談会

### 2 該当者

平成5年4月2日～平成6年4月1日の間に生まれた本市住民基本台帳に登載されている者

※ただし，本市出身者で市外に転出した等特別な事情が認められる者も対象とする。

### 3 出席状況

・該当者 5,206人（5,183人）

・出席者 3,898人（3,933人）

・出席率 74.9%（75.9%）

※カッコ内は平成25年成人式の実績

#### 4 平成26年宇都宮市成人式の実施状況

- ・昨年と比較し、該当者数は増加したが、出席者数は減少した。出席率は、昨年と比べ減少したものの、東日本大震災以降は概ね75%を維持している。
- ・式典は厳粛に、地域交流事業は和やかな雰囲気のもと、円滑に運営することができた。
- ・各会場では、新成人が実施委員会委員として成人式の企画・運営に携わっており、当日の司会進行も新成人の実施委員が行うことで、他の新成人の参加意識を高めることができた。
- ・本市が進めている地域教育の視点を踏まえ、新成人が地域の人から学び、地域へつながることができるよう、各会場において地域の特性を活かした事業（地域への感謝の言葉、保育園児等による和太鼓、中学生による吹奏楽、地域の特産物提供など）を実施した。
- ・昨年に引き続き、新成人が地域全体から応援されていることを自覚し、郷土愛を育むきっかけづくりをするため、案内状・プログラムに広告を掲載するとともに、地域の協賛団体・企業等の名称を掲載した「新成人応援ポスター」を各会場に掲示した。

#### ◆ 案内状 1社（1社）、プログラム 8社（8社）

新成人応援ポスター〔地域の協賛団体・企業等〕 356団体・企業等（342団体・企業等）

※カッコ内は平成25年成人式の実績

- ◆ ご協力いただいた団体等の名称については、市のホームページにも、1月末まで掲載した。

#### 5 今後の成人式について

- ・新成人を対象に実施したアンケート結果や実施委員会の意見等を踏まえながら、今後の成人式がより充実した事業となるよう、内容やあり方等を検討していく。

平成26年 宇都宮市成人式 出席状況〔前年度比較〕

別紙1

(H26.1.12開催)

中学校区	成人式会場		平成26年宇都宮市成人式									平成25年宇都宮市成人式								
			該当者数			出席者数			出席率			該当者数			出席者数			出席率		
			男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
一条	護国会館	午後	78	96	174	58	61	119	74.4	63.5	68.4	76	71	147	66	46	112	86.8	64.8	76.2
陽北	ホテル東日本宇都宮	午後	119	130	249	85	98	183	71.4	75.4	73.5	137	105	242	95	79	174	69.3	75.2	71.9
旭	護国会館	午前	142	122	264	66	50	116	46.5	41.0	43.9	135	115	250	68	66	134	50.4	57.4	53.6
陽南	ホテルニューイタヤ	午前	163	137	300	124	103	227	76.1	75.2	75.7	166	146	312	130	123	253	78.3	84.2	81.1
陽西	明保野体育館	午後	167	157	324	179	170	349	107.2	108.3	107.7	178	166	344	196	157	353	110.1	94.6	102.6
星が丘	とちぎ健康の森	午前	161	136	297	147	162	309	91.3	119.1	104.0	148	152	300	141	159	300	95.3	104.6	100.0
陽東	宇都宮東武ホテルグランデ	午前	227	188	415	115	111	226	50.7	59.0	54.5	256	164	420	120	99	219	46.9	60.4	52.1
泉が丘	宇都宮東武ホテルグランデ	午後	118	108	226	103	94	197	87.3	87.0	87.2	108	126	234	95	97	192	88.0	77.0	82.1
宮の原	明保野体育館	午前	144	128	272	99	82	181	68.8	64.1	66.5	110	153	263	79	99	178	71.8	64.7	67.7
清原	ホテルニューイタヤ	午後	115	127	242	83	113	196	72.2	89.0	81.0	100	122	222	63	109	172	63.0	89.3	77.5
横川	ホテルマイステイズ宇都宮	午後	109	98	207	78	75	153	71.6	76.5	73.9	71	85	156	52	59	111	73.2	69.4	71.2
瑞穂野	ヴィラ・デ・マリアーージュ宇都宮	午前	43	25	68	32	20	52	74.4	80.0	76.5	42	40	82	37	37	74	88.1	92.5	90.2
豊郷	ホテル東日本宇都宮	午前	140	102	242	91	75	166	65.0	73.5	68.6	127	104	231	93	80	173	73.2	76.9	74.9
国本	ホテル東日本宇都宮	午後	55	61	116	37	42	79	67.3	68.9	68.1	60	54	114	51	47	98	85.0	87.0	86.0
城山	コンセーレ	午後	71	60	131	47	47	94	66.2	78.3	71.8	68	72	140	49	54	103	72.1	75.0	73.6
晃陽	ホテル東日本宇都宮	午前	29	36	65	29	36	65	100.0	100.0	100.0	39	57	96	39	54	93	100.0	94.7	96.9
姿川	コンセーレ	午前	117	136	253	99	106	205	84.6	77.9	81.0	116	112	228	85	78	163	73.3	69.6	71.5
雀宮	ホテルニューイタヤ	午前	134	93	227	76	52	128	56.7	55.9	56.4	149	101	250	73	65	138	49.0	64.4	55.2
鬼怒	ホテルマイステイズ宇都宮	午前	139	130	269	83	77	160	59.7	59.2	59.5	127	129	256	85	92	177	66.9	71.3	69.1
宝木	とちぎ健康の森	午後	86	90	176	54	54	108	62.8	60.0	61.4	97	82	179	68	42	110	70.1	51.2	61.5
若松原	宇都宮東武ホテルグランデ	午後	104	134	238	83	118	201	79.8	88.1	84.5	122	113	235	98	102	200	80.3	90.3	85.1
上河内	ホテル東日本宇都宮	午前	64	43	107	56	40	96	87.5	93.0	89.7	47	48	95	43	46	89	91.5	95.8	93.7
古里	宇都宮東武ホテルグランデ	午前	64	64	128	49	55	104	76.6	85.9	81.3	60	57	117	53	46	99	88.3	80.7	84.6
田原	二荒山会館	午後	61	50	111	57	40	97	93.4	80.0	87.4	79	71	150	62	53	115	78.5	74.6	76.7
河内	二荒山会館	午前	43	62	105	39	48	87	90.7	77.4	82.9	64	56	120	58	45	103	90.6	80.4	85.8
合計			2,693	2,513	5,206	1,969	1,929	3,898	73.1	76.8	74.9	2,682	2,501	5,183	1,999	1,934	3,933	74.5	77.3	75.9

平成26年宇都宮市成人式 新成人の参加状況・地域交流事業内容一覧

別紙2

校 区	成人式会場	担当	司会進行		誓いの言葉		その他		計	主な地域交流事業内容等
			男	女	男	女	男	女		
一条	護国会館	中央	1	1	1	1	地域交流事業司会1 お礼のことは1	地域交流事業司会1 お礼のことは1	8	懇談(クラスごとの記念写真撮影), 恩師からのお祝いのことは, 恩師へ花束贈呈, 新成人代表から地域の方々(来賓も含む)へお礼のことは。
陽北	ホテル東日本宇都宮	中央	1	1	1	1	地域交流事業司会2 お礼のことは1	地域交流事業司会1 お礼のことは1	9	懇談(クラスごとの記念写真撮影), 恩師からのお祝いのことは, 恩師へ花束贈呈, 新成人代表から地域の方々(来賓も含む)へお礼のことは。
旭	護国会館	中央	1	2	1	0	地域交流事業司会1 お礼のことは1	地域交流事業司会2	8	懇談(クラスごとの記念写真撮影), 恩師からのお祝いのことは, 恩師へ花束贈呈, 新成人代表から地域の方々(来賓も含む)へお礼のことは。
陽南	ホテルニューイタヤ	南	1	1	1	1	閉式のことは1	開式のことは1	6	思い出のDVD, 抽選, 恩師からの祝辞。恩師への花束贈呈。
陽西	明保野体育館	西	2	2	1	1	受付3 地域交流事業司会1 お礼のことは1	受付2 地域交流事業司会1 お礼のことは1	15	ノンアルコールカクテルの提供による飲酒運転撲滅の啓発とメッセージ。地域で活躍する「園児・児童の子ども和太鼓」による新成人へのメッセージを盛り込んだステージ披露。恩師を囲んでの懇談会, クラス単位の集合写真及び懇談会のスナップ写真撮影, 栃木サッカークラブ選手との懇談・交流。メッセージ入りプリント煎餅。
星が丘	とちぎ健康の森	北	2	1	2	0	来賓係1 お礼のことは2	来賓係3	11	クラスごとの記念写真撮影, 新成人による恩師及び実施委員長・副委員長への感謝のことはと花束贈呈。 DVD上映(当時の写真等)
陽東	宇都宮東武ホテルグランデ	東	1	1	1	1	受付1	受付1	6	恩師への花束贈呈, 記念写真, スライドショー, 恩師からの祝辞。
泉が丘	宇都宮東武ホテルグランデ	東	1	1	1	1	受付2	受付2	8	恩師への花束贈呈, 記念写真, スライドショー, 恩師からの祝辞。
宮の原	明保野体育館	西	1	1	1	1	受付2 地域交流事業司会2 お礼のことは1	受付1 地域交流事業司会1 お礼のことは1	12	宮の原中学校ブラスバンド部から新成人を迎えた先輩へ向けた演奏披露。紅茶専門店による紅茶の提供とメッセージ, 新成人企画事業(中学校時代のアルバムのスライドショー, ビンゴゲーム大会。)恩師を囲んでの懇談会, クラス単位の集合写真及び懇談会のスナップ写真撮影。メッセージ入りプリント煎餅。
清原	ホテルニューイタヤ	清原	0	2	1	1	地域交流事業司会3 お礼のことは1 受付1	地域交流事業司会3 お礼のことは1 受付1	14	実施委員長あいさつ。新成人代表から地域の方々へお礼のことは。新成人実施委員経験者(先輩)による乾杯の発声。記念写真撮影。中学時代の写真等で「思い出のアルバム」を作成し上映。恩師へ花束贈呈。恩師からのメッセージ。農産物(梨ジュース, プリン, いちご)を通して地元を知ろう。協賛者への礼状作成。
横川	ホテルマイステイズ宇都宮	横川	1	2	1	1	開式・閉式のことは1 地域交流事業司会2	地域交流事業司会2	10	恩師からのお祝いの言葉, 記念撮影, 恩師への花束贈呈, 地域への感謝の言葉や新成人としての抱負などのコメントを書いたメッセージカードを作成し模造紙へ貼付けてクラス毎のメッセージモニュメントを完成させる。式典後, モニュメントを一定期間, センターロビーへ設置する。
瑞穂野	ヴィラ・デ・マリアージュ宇都宮	瑞穂野	1	1	1	0	お礼のことは1 地域交流事業司会1 地域交流事業抽選会2	地域交流事業司会1 地域交流事業抽選会1	9	クラス別の記念写真撮影, 恩師からのお祝いのことは, 「20歳へのメッセージ」(小6のリーダー講習会の時に書いた自分へのメッセージ)の配布・発表, 抽選会。
豊郷	ホテル東日本宇都宮	豊郷	2	2	1	1	お礼のことは1	—	7	恩師(クラス担任・3年次学年主任・副担任)の言葉, 花束贈呈, クラス別記念写真, 恩師(教科担任等)のビデオメッセージ, 卒業時配布DVD上映。
国本	ホテル東日本宇都宮	国本	1	1	1	1	地域交流事業司会1	地域交流事業司会1	6	記念撮影, 恩師からのお祝いのことは, 恩師への花束贈呈, 新成人者に突撃インタビュー, その他。
城山	コンセーレ	城山	1	1	1	1	地域交流事業司会1 受付2	地域交流事業司会1 受付3	11	写真撮影, 恩師からのメッセージ, 恩師へ花束贈呈, 感謝の言葉(メッセージカードに記入), 校歌斉唱。
晃陽	ホテル東日本宇都宮	篠井・富屋	1	1	1	1	乾杯1 懇談会2	懇談会3	10	恩師からのお祝いの言葉, 記念写真撮影, DVD上映(中学三年間), 懇談, 抽選会。
姿川	コンセーレ	姿川	1	1	0	1	地域交流事業司会1	地域交流事業司会1	5	クラス別記念撮影及びスナップ写真(DVD配布)・懇談会, 恩師からのメッセージ, 恩師へのメッセージ(新成人から恩師へのメッセージを色紙に記入)とバラの花束を贈呈。地域特産のバラを新成人に配布。
雀宮	ホテルニューイタヤ	雀宮	1	1	0	2	開式・閉式のことは1	—	5	記念写真撮影, 恩師への花束贈呈, 恩師からのメッセージ, 中学時代クイズ大会, 雀宮中在学時代の写真上映, 5年後の自分へ(立志式で書いた自分へのメッセージ)の配布, 恩師とのじゃんけん大会, 恩師余興, オリジナル雀シール配布。
鬼怒	ホテルマイステイズ宇都宮	平石	0	4	1	1	受付1 乾杯1	受付1 乾杯1	10	各クラスごとに集合写真を撮り鬼怒川中学校成人式のホームページに載せる。 DVDを作成し上映する。恩師からのメッセージ。
宝木	とちぎ健康の森	北	1	1	0	1	お礼のことは1	—	4	クラスごとの記念写真撮影, 恩師への花束贈呈, DVD上映(恩師からのメッセージ・当時の写真等)
若松原	宇都宮東武ホテルグランデ	南	1	1	1	1	開式のことは1	閉式のことは1	6	思い出のスライドショー, さいころトーク, 恩師からの祝辞。
上河内	ホテル東日本宇都宮	上河内	1	0	1	1	お礼のことは2	地域交流事業司会1	6	恩師(全員から一言)お祝いのことは, 恩師による乾杯の発声, 恩師への花束贈呈, 記念撮影, センターロビーに感謝のことは色紙を一定期間掲示する。
古里	宇都宮東武ホテルグランデ	河内	1	1	1	1	受付2, 会場1 地域交流事業司会1	受付1 地域交流事業司会1	10	恩師からのお祝いのことは, 恩師への花束贈呈, 記念写真撮影, 思い出クイズ。
田原	二荒山会館	河内	1	0	1	1	受付4 地域交流事業司会1	受付1 地域交流事業司会1	10	恩師からのお祝いのことは, 恩師への花束贈呈, 記念写真撮影, 思い出映像上映, 思い出クイズ。
河内	二荒山会館	河内	1	1	0	1	受付1, お礼のことは1	受付1 地域交流事業司会2	8	恩師からのお祝いのことは, 恩師への花束贈呈, 記念写真撮影, 思い出映像上映, 新成人代表から地域の方々へのお礼のことは。
合 計			26	31	22	23			214	← 兼務を含む

## 「地域かがやきプロジェクト」の実施状況等について

### ◎ 趣 旨

平成25年度地域かがやきプロジェクトの実施状況等について報告するもの

#### 1 地域かがやきプロジェクトについて

##### (1) 目的

地域教育や地域の困りごとなどについて、地域住民が改めて考え、取り組みのきっかけになるような機会を創出する。

##### (2) 概要

別紙1のとおり

#### 2 実施状況について

別紙2のとおり

#### 3 平成26年度に向けた対応について

各生涯学習センターにおいて、地域学講座や郷土愛の醸成を図る講座など、地域かがやきプロジェクトに該当する講座が当初予算の段階で主催講座として計上されているところであり、今年度、当該プロジェクトは、地域活動団体との連携事業において活用が図られたところである。

こうした状況を踏まえ、次年度における制度の効果的な活用に向け、以下のとおり対応していく。

- 地域活動団体との協働事業への活用促進
  - ・ 各生涯学習センターを通じた地域発意の講座も対象となることを説明
  - ・ 地域課題に対応した講座（防災、健康づくり等）
  
- 各生涯学習センターにおける活用が想定される講座の提示
  - ・ 地域学講座（※）や郷土愛の醸成を図る講座
  - ・ 人権教育に関する事業への活用
  - ・ 地域かがやきプロジェクトに該当する既存企画講座における活用 など

※ 地域学講座とは、地域住民が自らの住む地域の特徴を理解し、「地域の課題に気づく」ための「学習」を支援するための事業であり、各生涯学習センターを中心として、地域のデータを活用し、フィールドワークなどを交えながら、実施していく講座。

1 事業の目的

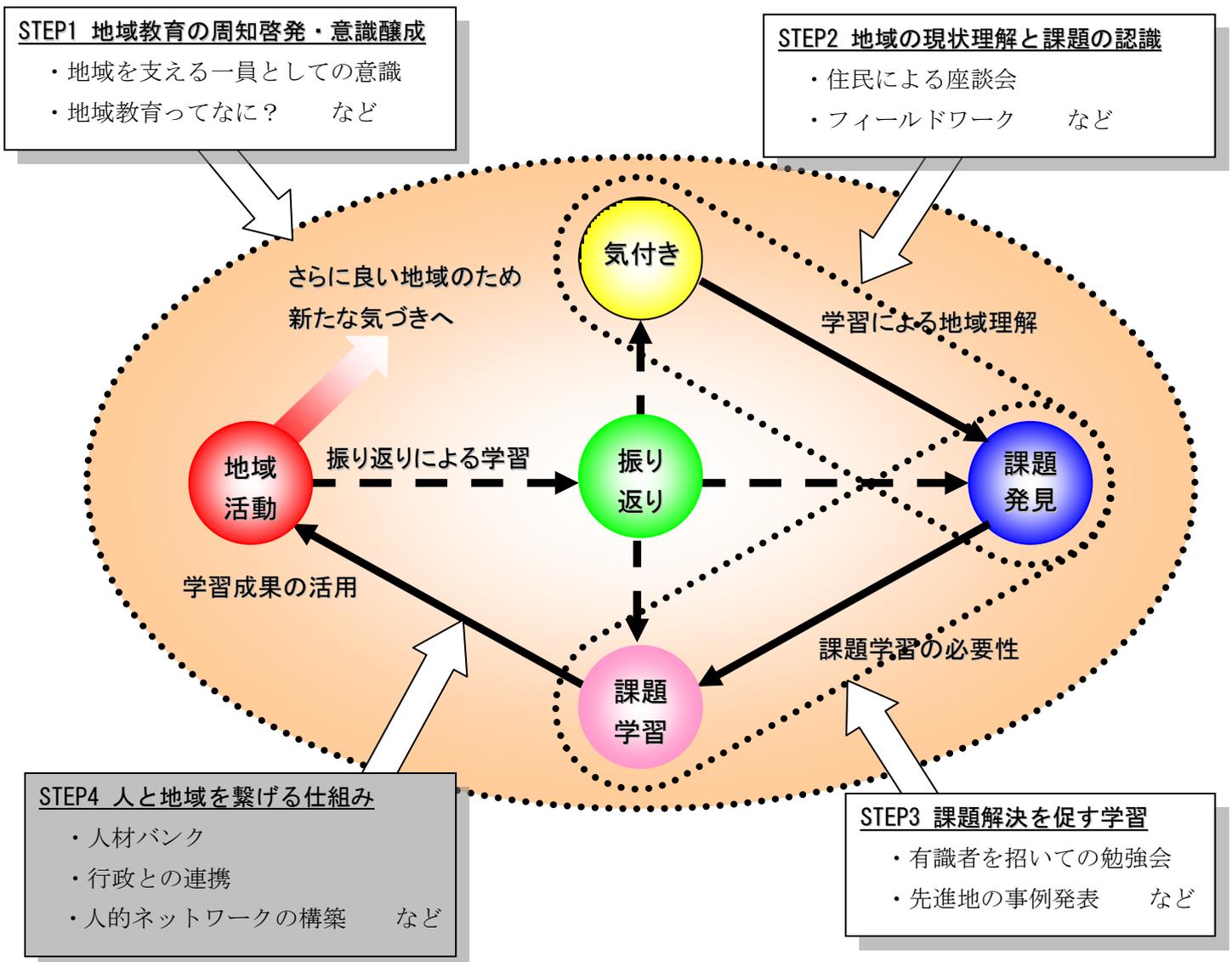
地域教育や地域の困りごとなどについて、地域住民が改めて考え、取り組みのきっかけになるような機会を創出するため「地域かがやきプロジェクト」（以下「CKP」という。）を実施する。

2 CKPの目指す姿

未来を担う子どもや地域社会を支える「人づくり」に重点的に取り組むため、平成22年度において、まちづくりとの一体的な推進体制整備を実施したところであり、現在、各生涯学習センターや人材かがやきセンターを拠点として人材育成の強化や地域教育活動の促進を図り、「地域で学び、学んだひとが地域をつくる」地域教育の推進に取り組んでいる。

さらに効果的に地域教育を推進していくため、地域住民に対する地域教育の周知啓発により意識醸成をはかり、地域の現状の理解から始まり、課題の認識と共有、課題解決を促す学習、学習した人と地域を繋ぐ仕組み、さらには活動者からの新たな課題の提供というような、「学習」と「活動」の循環（下図）を目指し、CKPを実施する。

【図】 活動と学習の循環（CKPサイクル）



No.	センター名	事業名	実施日	事業の概要	講師	受講者数				備考
						①	②	③	延べ	
1	西	思い描こう地域の未来！ ～もっと知ろう我が地域～	2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜地域の住民が、より安心して快活に暮らしていくため、地域まちづくり推進に係るビジョン策定への機運醸成を目的として開催。</li> <li>・講座前半に、佐藤栄一宇都宮市長より、総合計画における基本施策「市民が主役のまちづくりを推進する」ための主要事業「地域が一体となったまちづくりの推進」に係る講話を実施。</li> <li>・講座後半は、前橋明郎作新学院大学教授による「地域まちづくり」についての概論や大学ゼミナールの県内における地域活動(空き店舗利用のチャレンジショップ経営等)事例等を盛り込んだ講話を実施。(ゼミナール学生参加)</li> <li>・桜地域と協働して「桜地域カルテ簡易版(統計資料添付)」を作成し、来場者に配布。</li> </ul>	佐藤栄一(宇都宮市長) 前橋明郎(作新学院大学経営学部教授)	64	—	—	64	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜地域まちづくり協議会・桜地区青少年育成会・西生涯学習センターの共催で開催し、桜地区内の各種団体の会員や住民が多数参加。</li> <li>・講座準備から運営にいたるまで、各組織が連携、協働しながら進められ、円滑な開催に繋がった。</li> </ul>
2	西	富士見地区 いま むかし	2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を支える人材育成や、地域住民が主体的に地域づくり、まちづくりを推進していくための機運醸成を目的として開催。</li> <li>・宇都宮市文化財保護審議委員会委員の大嶽浩良氏から富士見地区の歴史に関して、地域の変遷やシンボルともいえる「なかよし通り」について、当時の生活の様子や古い地図を活用し、住民の方が身近に歴史を感じられるよう分かりやすい講話を実施。</li> <li>・富士見地域と協働して「富士見地域カルテ簡易版(統計資料添付)」を作成し、来場者に配布。</li> </ul>	大嶽浩良 (宇都宮市文化財保護審議委員会委員)	15	—	—	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見地域まちづくり推進協議会と西生涯学習センターとの共催。</li> <li>・参加者は自治会長のほか、地域の歴史に強い興味を抱いている住民の参加もあり、熱心に聞き入っていた。</li> </ul>
3	北	災害ボランティア養成講座	9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時に迅速に的確な行動ができるよう、自治会による避難誘導訓練や細谷地域災害支援本部設置訓練をはじめとする細谷地域防災訓練の概要を把握するとともに、MCA無線の取り扱いや応急手当・救出救護方法などを学び、10月の防災訓練に向けて関係団体・住民相互の連携・協力の必要性を体験した。</li> <li>・主催：細谷地域災害対策本部 細谷地域まちづくり協議会 細谷地区自治会連合会 共催：北生涯学習センター</li> </ul>	宇都宮市消防本部西消防署宝木分署	58	—	—	58	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北生涯学習センターと細谷地域まちづくり協議会が連携して実施。</li> <li>・講座の主な参加者は、各自治会(自主防災会)の防災部門の担当者・民生委員児童委員・福祉協力員など</li> </ul>
4	富屋	健康づくり推進員組織力アップ研修	①1月30日 ②2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富屋地区の高齢化率が、本市全体の20.9%に対し27.6%となっているなか、活力あるまちづくりのためには、誰もがいつまでも健康であるための健康づくりが重要な課題となっている。このため、地域の健康づくり活動を実践している健康づくり推進員を対象に、活動スキル向上研修の実施により、組織力の強化を図る。</li> <li>・また、健康づくりに携わる人材層を厚くするため、一般住民も対象として、健康づくり活動参加へのきっかけづくりを図る。</li> </ul>	①②益子篤子ほか (国際ヨガ協会栃木中央支部)	39	41	—	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富屋地区健康づくり推進員との共催により開催。</li> </ul>

No.	センター名	事業名	実施日	事業の概要	講師	受講者数				備考
						①	②	③	延べ	
5	富屋	とみや女性学講座	①2月22日 ②3月22日 (予定)	・「女性の活躍の場がない」「女性組織の主体的な活動がない」「女性組織の高齢化やネットワークの希薄化」等の地域課題と女性たちの「何かしたい」「どうにかしたい」を結び、学習とコミュニケーションの場の提供を通して、女性の方で地域力アップを図っていくための資質の向上と地域ネットワークの拡大とともに、自らが地域力を発掘・発信していく人材の養成を図る。	①川鍋節子(キャリアアドバイザー) ②高瀬美子(フリーアナウンサー)	41	37 (見込)	—	78 (見込)	・今年度は初めての講座であったことから、資質の向上を目的とした講座を実施。
6	清原	企業体験教室	3月26日 (予定)	・子どもを対象に清原工業団地にある企業の施設見学会等を実施することで、日本のものづくりの偉大さを感じてもらおうとともに、日本を代表する企業が清原地域にあることの“誇り”を持ってもらうことで清原地域の将来を担う子どもの地域愛を育て地域づくりの推進につなげる。	(株)キヤノン宇都宮工場スタッフ	20 (見込)	—	—	20 (見込)	(株)キヤノンとの連携事業
7	生涯学習課	地域学に関する担当者研修	11月19日	・「地域学講座」の実施において必要とされるフィールドワークの手法・経験の習得を目的として、雀宮地区の「まちの魅力」発見をテーマとした講義とフィールドワークによる職員研修を実施。 ・フィールドワークにおいてポイントとなる地域の探索方法、統計データを用いた多角的な地区の把握方法などについての講義のほか、雀宮駅～雀宮銀座周辺までをフィールドワークにて「まちの魅力」探しを実施。	高岡耕子(有限会社マスタープラン代表) 井上俊邦(市政研究センター係長)	23	—	—	23	・生涯学習センター職員のほか、まちづくり業務に関わる職員も参加。

平成 26 年度生涯学習センター事業計画（案）について

## 平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方

### (1) 基本的な考え方

近年における、少子超高齢・人口減少社会の到来や都市化・核家族化の進行などにより、家庭・地域の教育力の低下や住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、青少年層の自立意欲の減退など、人づくりやまちづくりにおける課題が顕在化してきている一方、団塊の世代の地域活動が活発化してきており、これからの地域を支える新たな担い手として期待されるなど、本市を取り巻く社会環境は大きく変化している。

また、東日本大震災の経験を通じて、困難に直面しようとも諦めることなく状況を的確に捉えて自ら考え行動する力の重要性や、地域の絆や人と人とのつながりの重要性が再認識される中、地域住民の協働による地域課題の解決や地域の活性化など、地域づくりの取組を促進するためには、「個人の自立」や「絆づくり・地域づくり」につながる事業の充実に取り組んでいく必要がある。

こうしたことから、生涯学習センターにおいては、第2次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念である「学びを通して、豊かな人間性と人と人との絆を育み、地域ぐるみにより、教育活動やまちづくりを支える社会を実現する。」ために、地域を支える市民一人ひとりが自己の自立と社会の一員であることを意識し、社会参加への意欲を高めるような事業や学んだ成果を地域につなぐきっかけとなる事業運営に取り組んでいく。

### (2) 各生涯学習センターの役割

全ての生涯学習センターにおいて、「人材かがやきセンター」、「市民大学」との各種事業が担う領域の特徴を踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら多様な事業を推進するとともに、市民の生涯学習ニーズに応じた学習相談及び支援を行う。

また、自立した個人を養成するための事業や、地域の課題解決に向けた事業などに積極的取り組み、住民の身近な地域における学習の拠点として「地域教育」の推進に向けた事業を実施する。

なお、講座等事業の実施にあたっては、開催日時や学習の手法の検討、託児の充実など、引き続き受講環境を整備することにより、多くの市民が参加できるよう努めるとともに、地域の各種団体や企業などとの連携に配慮する。

※各種生涯学習講座が担う領域の特徴分析について・・・別紙資料

### (3) 重点項目

#### ア 人間力の向上に資する事業の充実

激しく変化する社会の中で，市民一人ひとりが心豊かに生活できるよう，学ぶことの喜びや仲間づくりにつながる趣味・教養的な講座を引き続き実施するとともに，生活に役に立つ講座や青少年リーダー育成など，個人の自立を促すための講座や，国際交流，男女共同参画，人権，まちづくりなど社会の要請に対応した講座の充実を図る。

#### イ 家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実

「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため，家庭や親の役割や責任，子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や子育ての知識や技術を身につけるための講座などを実施する。実施にあたっては子育て中の親の仲間づくりにつながるよう，参加交流機会の充実に努める。

また，地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図るとともに，学校や企業など，地域を構成する各主体とのより一層の連携・協力を図り，家庭と地域が抱える課題の解決に資する事業の充実に努める。

#### ウ 学習情報拠点としての充実

市民の主体的な学習活動を啓発・支援し，生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため，生涯学習センターは地域の学習情報の拠点として，積極的な情報収集や提供とともに，生涯学習センターの情報共有を行い，学習相談の充実に努める。

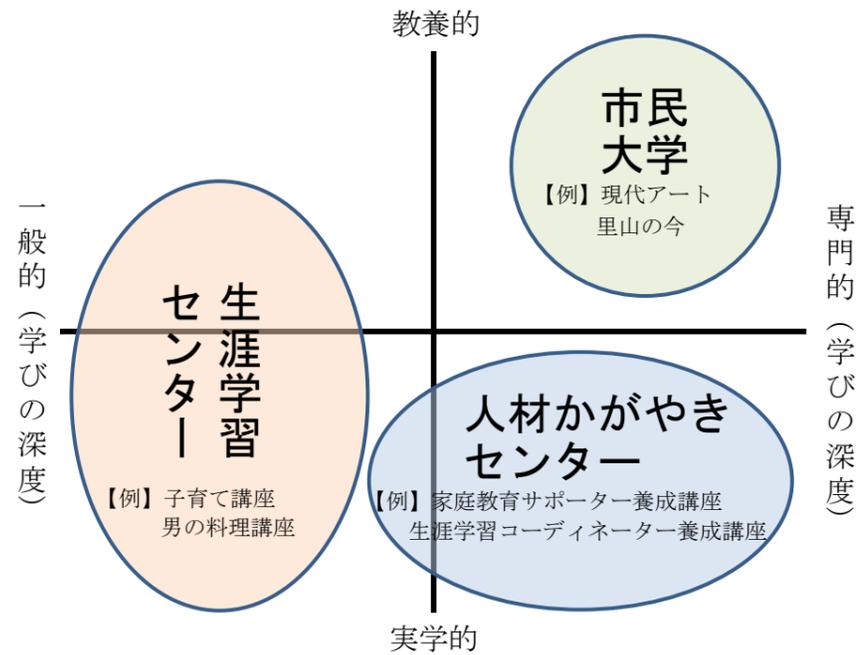
#### エ 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進

市民の地域に根差した学習活動を推進するため，各種ボランティア等の養成を推進するなど，地域で活躍できる「人づくり」の充実を図るとともに，地域に目を向け，地域のもつ魅力や課題に気づくきっかけとする講座の充実に努める。また，学んだ人材が学習成果や経験を活かせるような機会と場の提供に努める。

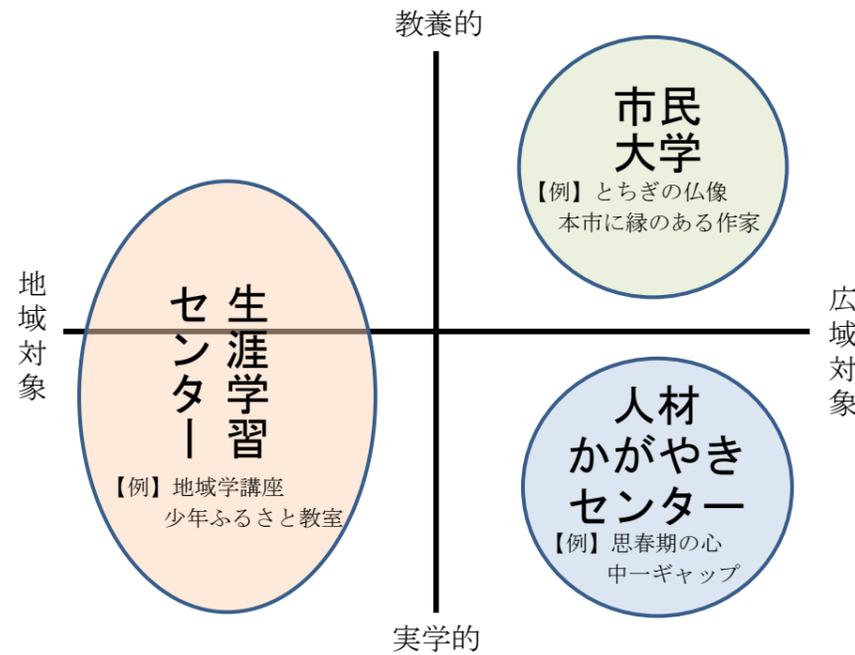
各種生涯学習講座が重点的に担う領域のイメージについて

別紙資料

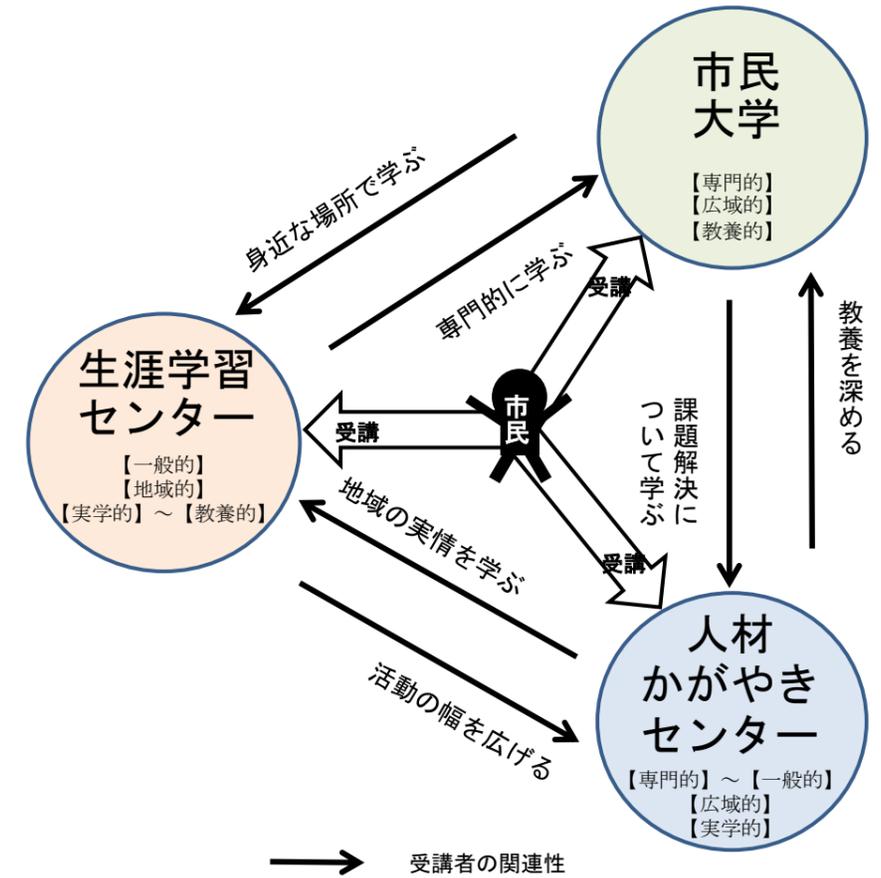
① 講座の内容（学びの深度）による区分



② 講座の目的（対象）による区分



③ 各種講座の関連性について



**【生涯学習センター】**

- ・ 「実学的」な講座を主として、「教養的」な講座まで、幅広い領域を担う。
- ・ 「一般的」なレベルの領域を担う。

**【人材かがやきセンター】**

- ・ 主に「実学的」な講座の領域を担う。
- ・ 「一般的」な講座から「専門的」な講座まで、幅広いレベルの領域を担う。

**【市民大学】**

- ・ 主に「教養的」な講座の領域を担う。
- ・ 「専門的」なレベルの領域を担う。

**【生涯学習センター】**

- ・ 市民生活の場である「地域」的なテーマの講座を展開する。

**【人材かがやきセンター】**

- ・ 本市の地域教育推進拠点であり、「広域」的なテーマの講座を展開する。

**【市民大学】**

- ・ 全市民を対象としており、「広域」的なテーマの講座を展開する。

平成26年度 中央生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

中央地区における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。  
 ア 市民ニーズや社会情勢に対応した魅力ある学習機会の提供に努める。特に、個人に委ねられがちな青年教育の充実と親学の向上に努める。  
 イ コーディネーターへの活動の機会や場の提供を行い、人材活用に努める。  
 ウ 所管する8地域のそれぞれの特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	若者ナイト・セミナー	青年層を対象に、社会生活や仕事のうえで役立つ知識や教養を身に付ける学習機会を提供し、社会で活躍する青年の増加を目指す。(講座回数の増加)	市内在住・在学・在勤の青年(18歳～35歳程度)	9月～	6回	
	成人教育					
	金曜まなび塾	行政各課や市民との連携、協力により、各課、団体が実施する幅広い分野等、市政及び身近な問題への理解を深める学習機会を提供することにより、生涯学習の推進を図る。(参加体験型学習の導入)	市内在住・在勤の一般成人	7月～	11回	
	市民企画運営講座1	中央生涯学習センターに登録している生涯学習コーディネーターが企画から実施まで運営全般を担う機会と場を提供する	市内在住・在勤の一般成人	未定	4回	
	市民企画運営講座2		市内在住・在勤の一般成人	未定	4回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。(内容に応じて年齢層を分けた講座の実施)	乳幼児(0～6歳)とその保護者	5月～	11回	
	親と子のワクワク体験講座	親が子どもと一緒に体験や活動することを通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換する機会を提供する。(講座回数の増加)	市内在住の小学生とその保護者	8月～	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域活動団体などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の支援を行う。魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	(仮称)地域応援講座★	地域の実情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとする。	所管する8地域内の一般成人	未定	8回	
	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	10月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 東生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

生涯にわたり自分にあった学習活動が行えるよう住民の身近な学習拠点として「地域教育」の推進に向けた事業を実施するとともに、地域特有のニーズに対応した事業展開を図る。  
 学びを通して豊かな人間性や人と人との絆を育み、地域ぐるみの人づくりやまちづくりに資する。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	子ども国際理解サマースクール	外国人と身近に接する参加型の学習を通して、「国際理解・協力」の力を養う。宇都宮大学国際学部との連携による事業。	市内在住の小学4年生～6年生(30名)	8月	2回	
	成人教育					
	高齢者現代セミナー「東雲塾」	1. 高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るために、歴史と文化、軽体操、レクリエーションなどの学習を行う。 2. 身近な地域について学ぶことにより、地域課題に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図る。 (郷土愛の醸成など、地域学に関する内容の導入)	市内在住・在勤の65歳以上の方	通年	8回	
	ふれあい塾	生涯学習コーディネーターが企画・運営する講座。受講生同士の話し合いの場を設け、「聴く、見る学習の場」から「話し合う学習の場」を目指す。「住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活するためには」「田中正造の生涯」等のテーマについて、講義後、意見交換を行う。	市内在住・在勤の20歳以上の方	通年	8回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	すくすく子育て	乳幼児の大切な時期に親子のスキンシップを図ると共に、子育ての学習やレクリエーションを通して、受講生同士の交流を深める。(リトミック・キッズダンス等) また、子育ての悩みを相談したり、子育てに関する知識を身に付ける機会を提供する。 (対象を年齢で分けるなど、多数の参加者への対応)	1～2歳児とその保護者(40組) 2～3歳児とその保護者(40組)	5月～9月 10月～2月	6回 6回	
	親子でDoing(親子チャレンジ)	親子のスキンシップを図るとともに、実験や工作などの体験を通し、環境やものづくりについて学ぶ。また、参加者相互の情報交換や仲間づくり等の交流の機会をつくる。	小学3年生とその保護者(50名)	5月～7月	6回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	東生涯学習センター文化祭	センター利用団体及び対象地域のコミュニティセンターで活動するグループが学習成果を発表し、相互に交流する。	東生涯学習センター利用団体及び一般(地域住民)	10月	1回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 西生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方にに基づき、市民の人間力の向上や家庭・地域の教育力の向上に資する「人づくり」を目的とした事業を中心に取組む。  
 ア 社会生活の基礎的な能力向上や社会の変化に適応するための事業を充実させる。  
 イ 親子が共に育つ事業や地域の人的資源を課題解決につなぐ事業など、家庭と地域の教育活動支援を推進する。  
 ウ 地域特性を踏まえた魅力ある事業を実施する。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	夏休みチャレンジ教室	夏休みを利用して様々な学習や体験を通じて、創造性や思考力を培うとともに、仲間との交流を深める。 (館外学習の導入)	小学校4年生～6年生 (市内小学校在学)	7月～8月	5回	
	成人教育					
	シニアいきいきアンチエイジング (市民運営講座)	いつまでも元気で、脳と体と心に若さを保ち、毎日をいきいきと過ごすための実習・学習を行うとともに受講者同士の交流を深める。	50歳以上の方 (市内在住・通勤)	5月～12月	8回	
	西楽アカデミー	生きがい学習や健康についてなど現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行なうとともに、受講者同士の交流を深める。 (生活課題に対応した内容の充実)	成人 (市内在住・通勤)	6月～2月	10回	
	俳句で発見！地域の魅力★	俳句の楽しみを基礎から学び、創作活動を通して四季折々の地域の魅力を探る。	成人 (市内在住・通勤)	6月～12月	7回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	すくすく子育て講座	子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。	1歳～3歳の幼児とその保護者 (市内在住)	6月～1月	7回	
	親子でGO！	様々な体験を通し親子の絆を深めながら、子供の心を育むために役立つ知識や技術を学習・習得することにより家庭の教育力向上を図る。 (父親交流機会の拡充、野外活動の導入)	小学校1年生～3年生とその保護者 (市内在住・通学)	5月～9月	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供していく。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	西生涯学習センター文化祭	各種団体が一体となって作品展示・発表会・講演会等を行うことにより、特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	10月～11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 南生涯学習センター事業計画(案)

基本方針					
<p>少子高齢化に伴う世帯構成の変容や家族形態の多様化などにより、発生しつつある課題・将来的に発生することが懸念される課題について、地域の人々が、時間と場所と情報を共有し、議論を重ねる中で、家庭及び地域の教育力の向上に資する事業、一人ひとりが主体的に問題解決に向かう契機となる事業を実施していく。生涯学習コーディネーターなどボランティアや、センター利用者が活発に活動できる場や、活動成果を発表できる場を創出し、尽きることのない知的好奇心、生きがいづくりに応えていく。</p>					

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	ものづくり達人講座	地域の伝統あるものづくり(「ふくべ細工」「宮凧」)を体験することとおして、完成までのプロセスの重要性や完成時の達成感を学ぶとともに、伝統文化の継承を図る。	小学校3年生～6年生	夏期 冬期	各1回	
	成人教育					
	高齢者現代セミナー～絆再生プロジェクトⅢ～	子どもから高齢者まで幅広い年代が集えるような「地域の居場所」づくりを目指し、事例見学や地域の文化祭への参加などとおして、住民の力での地域課題の解決へのきっかけづくりをする。(参加者同士の結びつきを重点とした、参加者数の見直し)	市内在住の成人	8月～12月	6回	
	シニアセミナー南悠塾	シニア世代がこれから生きていくための大事な要素である“家・家族”をテーマに、今後の人生を自らの家で、豊かな時間を過ごしてけるよう考えるきっかけ作りをする。(講座時間の見直しによる受講環境の整備)	60歳以上の市民	5月～12月	7回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	すくすく子育て講座(1)	スキンシップや親子遊びで親子の絆を深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、家に閉じこもりがちな子育て中の母子には、外出の機会を、また、育児参加や父親同士の交流機会の少ない父親には、講座への参加をうながすことにより、新たな仲間づくりやネットワークづくりの場を提供する。(対象年齢別による講座の展開)	乳児(1歳6か月～2歳6か月)とその親	5月～8月	4回	
	すくすく子育て講座(2)		幼児(2歳6か月～4歳)とその親	9月～12月	4回	
	はじめて育児応援講座	初めて育児をする母親の育児への不安やとまどいを軽減し、同じ立場の母親と思いを共有することで仲間づくりや交流の機会を作る。(開催回数の増加)	初めて子ども(0歳～1歳6か月)を持つ母親	6月～7月	4回	
	子育てがちよっと楽になるママのための傾聴講座	家庭内での子どもの話しの聴き方・子どもとの接し方を見直し、親子のコミュニケーションが難しくなってくる年頃の子どもの良好な関係が保てるよう、コミュニケーションを円滑にする「傾聴」について学ぶ	小学生～中学生を持つ母親	9月	3回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	南生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月中旬	1回	
	市民運営講座～楽しい小物づくり講座～	生涯学習コーディネーター企画運営講座 生きがいづくりを目的に、着物の端切れを使い、和装小物とおして仲間との交流を深める。	一般市民	6月～8月	3回	
	市民運営講座～男の料理教室Ⅶ～	生涯学習コーディネーター企画運営講座 中高年男性の料理を通じて、仲間づくりと生涯学習への動機づけを図る。	中高年男性	10月～2月	5回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 北生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

急激に社会環境が変化し続ける現代において、豊かで住みよい地域社会づくりを推進するためには、家庭や地域の教育力の向上が必要かつ急務となっている。そのため、人間力の向上や、家庭・地域の教育力の向上に資する事業など、生涯の各時期において「人づくり」を目的とした事業を展開する。  
 ア 「人づくり」の基本となる家庭教育力の向上が図られるよう、ボランティアや地域の人的資源の活用・育成に向けた事業の充実努める。  
 イ 社会人としての基礎的な力となる「人間力」の向上を図るため、人権・環境・健康・地域学などの取組みに努める。  
 ウ 市民の多様な学習ニーズに対応するため、学習機会の充実や学習成果を活用できる機会と場の提供に努める。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	青少年リーダー養成講座	企業等の活動を学ぶことを通して職業観を養うとともに、協調性・たくましさ・思いやりのある心豊かな人間性や社会性を育み、次世代を担う地域のリーダーとしての資質を養う。 (講座回数の増加)	小学4年～6年	8月	3回	
	映画鑑賞会～昔遊び～	生涯学習センターを会場にして映画会を開催、映像教材を上映して情操教育を図るとともに、生涯学習センター利用促進につなげていく。	小学生	7月	1回	
	成人教育					
	北洲塾	環境・健康・地域・生活などについて学び、知識を深め各自の役割について認識するとともに、地域社会への参加の輪を広めながら学んだ知識等を家庭や地域に生かしていく。 (開催時期等の見直し)	一般成人	5月～11月	10回	
	市民運営講座「自分磨きで素敵な出会い」★	出会いの少ない未婚の男女に自分磨きをしてもらいながら、豊かな表現力や調理での男女共同作業などを学び、初対面の人ともコミュニケーションがとれるようにする。	一般成人(未婚の男女)	9月～11月	3回	
	聴いて読む名作PART4	文学作品を講師の朗読で鑑賞し、作品をより深く味わうとともに、心豊かな人生につながるような新たな感じ方・捉え方を学ぶ。	一般成人	6月～7月	3回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	新・家族応援講座	主として乳幼児期の子どもの発達課題とその発達に必要な生活経験、そのための環境づくり、自我が芽生えた子どもへの接し方等を学ぶ。(講座回数の増加)	未就学児を持つ親15組(父母単独参加も可)	6月～7月	5回	
	市民運営講座「親子でチャレンジ」★	親子で行うゲームや料理を通して主体的に行動する力を育む。また、参加者同士のふれあい・親子の絆を深める。	小学1年～3年の親子20組	7月～11月	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	地域を学ぶ「わがまちを知ろう。～自然・社会編」	身近な地域の自然・社会・文化・地理・風土を学び、地域生活者としての基礎知識を身に付ける。 (生活課題への対応)	一般成人	9月～11月	5回	
	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センターを拠点に活動している団体等の学習成果の発表の場を提供する。	北生涯学習センター利用団体及び一般市民	9月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるのと同時に、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 平石生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

平石地区においては、まちづくり協議会が中心となり活発な活動を続けているが、全般的に活動従事者の固定化、高齢化が顕著であり、新たな人材の発掘・育成が急務となっている。こうしたことから、子どもから高齢者に至るまで幅広い世代を対象に、地域の魅力や地域の課題、さらには現代的課題への関心の喚起を促し、地域活動への参加や地域リーダーとしての育成に結びつくような事業の充実を図る。  
さらに、当地区は、保健福祉の拠点地区としての利点を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループの連携の下に、石井、陽東地区との融合を図った事業を展開していく。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	少年ふるさと教室	様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深め、生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。	地区内の小学生	7月～1月	3回	
	成人教育					
	大人の教養講座	地域の人材育成は、重要な課題のひとつである。趣味や教養を学ぶ中から人との交流や、これまで培った知識や経験を生かしながら、地域で生き生きと過ごす地域デビューのきっかけとする。(講座回数の増加)	地区内に居住する成人	6月～7月	3回	
	高齢者「友遊教室」	高齢者にふさわしい講話、趣味や教養を身につけるための学習、異世代間交流などの機会を創出する。	地区内に居住する60歳以上の成人	5月～2月	9回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	親子の広場「はぐはぐ」	子育て中の親とその子どもを対象に「つどいの場」を週1回開催、サポーターが話し相手になる。月1回子育て支援事業を実施する。	地区内の乳幼児とその親	毎週	40回	
	親子ふれあい講座	連続した講座を開催することにより、母親相互の交流を図るとともに、親子が一緒に遊びや体操を行なうことで幼児期に必要な親子の関わり方を学ぶ。	地区内の乳幼児とその親	7月～8月	3回	
	家庭教育セミナー	成長著しい小学生の子を持つ親を対象として、子どもの「生きる力」を育むための知識や技術を身につける。(家庭の教育力の向上のために～「親学」の推進～)	地区内小学生の親、親子	6月～10月	3回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	高齢者指導者研修会	地域リーダーとしての資質の向上や後進の指導者育成を行う。	地区内の高齢者	5月	1回	
	女性指導者研修会	地域リーダーとしての資質の向上やまちづくり活動の推進を図る。	地区内の女性	6月	1回	
	平石地区文化祭	小学生の作品展示、及び平石生涯学習センター利用団体による学習成果の発表。また、参加することにより、域住民との連帯意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成25年度 清原生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

少子高齢化が進む一方で核家族や高齢者世帯の増加など、社会環境が急速に変化する中、世代間における価値観の多様化など、様々な課題が顕在化し、それらに対応した学習機会の提供が求められる。  
清原地区においても、テクノ地域などで若年層を中心に他都市からの転入者が増加していることから、子育て世代のコミュニティづくりや地域への理解を深め愛着を育む環境づくりも急務である。また一方では、既存団地などの住民の高齢化も進んでいることから、地域の特性や各世代における住民の学習ニーズを的確に把握し、地域団体や地元大学等との連携など地区内の社会資源を活用して、家庭や地域の教育力の向上、地域課題の解決、人材育成に資する事業の充実を図る。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	自然体験親子遊び塾	自然の中での体験活動を通して、自然の素晴らしさ、命の大切さを学ぶとともに、仲間づくりや親子のふれあいを深める。	地区内の小学生とその保護者	7月～2月	4回	
	企業体験教室★	小学生を対象に清原工業団地の企業と連携した工場見学会等を実施し、「日本のものづくり」の偉大さを感じてもらうとともに、日本を代表する企業が地域にあることの“誇り”を持つことで地域の将来を担う子どもの地域愛を育て、地域づくりの推進につなげる。	地域内小学生	8月	1回	
	成人教育					
	出前講座	地域住民の多様な学習ニーズや地域課題解決のための学習機会を提供することにより、地域づくりに対する関心や参加意識の向上を図る。	地区内住民	随時	8回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	ふれあい子育て広場	保護者の家庭における教育力の向上を図るため、子育てについての知識や技術を身につけ、親子のスキンシップを深めることにより、生き生きとした親子関係を育み、また、交流する親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。 (講座回数の増加)	0歳～未就学児と保護者	6月～2月	8回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどに取り組みながら、相談者のニーズに応じた学習活動を実施する。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	地域リーダー研修会	地域のまちづくり活動を推進するため、地域活動や課題解決のための知識・情報を提供することにより、地域リーダーの資質向上を図る。	清原地区内の指導者 自治会長、自治公民館長、地域まちづくり組織の役員等	2月	1回	
	青少年教育・育成指導者講座★	子どもを抱える若年単世帯の増加に対応するため、地域で青少年の教育及び育成に携わっている住民を対象に、地域ぐるみで子どもを育てる意識を醸成し、指導者の資質を向上させるとともに、地域を構成する各団体が、より一層の連携・協力を図り、地域づくりを推進する。	地域内青少年育成関係者	7月	2回	
	清原地区文化祭	清原生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	清原生涯学習センター 利用団体	10月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 横川生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

横川地区は、農村部と都市部(住宅, 商業)が混在する地域であり、最近では東谷・中島地区(インターパーク)及び下栗・平松地区の区画整理事業に伴う都市化が顕著である。  
 また、地区内の高齢化の進展やインターパーク地区の住宅開発などによる「新住民」の増加などにより、地域のコミュニティ意識の希薄化や連帯感の喪失などが大きな課題となっており、住民に身近な地域における生涯学習拠点として、地域教育を推進することが特に重要であると考えられる。  
 このようなことから、平成26年度においては、地域が主体的に「地域ビジョン」策定に取り組むよう、また地域の魅力(特色)についてさらに理解を深めるよう、地域学講座(まるごと横川)を充実させていくとともに、防災活動のような地域での取組を今後強化したい分野を対象に新たに講座を開催するなど、地域教育を推進する。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	夏休みチャレンジ教室	ものづくり体験学習を通し仲間づくりや社会性を身につけ、地域内児童の豊かな情緒を育む。	地区内の小学生	8月	2回	
	成人教育					
	食育講座	「横川地区産の食材の魅力を知る」をテーマに、地域の魅力に目を向けながら豊かな食生活を送るとともに、健康の維持を図るための食に関する知識を身につけ生涯を通じた健全な食生活を学び、健康の確保が図れるよう、食に関する知識を身につける。	地区内の一般成人	6月～12月	3回	
	高齢者教室(ことぶき塾)	日常生活に関する社会問題や健康維持法、地域の魅力を再発見する館外学習講座など行うことにより、横川地区の高齢者の健康で豊かな生活を支援する。(地域課題への対応)	地区内の高齢者	6月～1月	7回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	子育て広場	乳幼児期の大切な時期に親子のスキンシップを図るとともに、ボール遊びやリズム体操、レクリエーションを通して、体力・情緒を豊かに育み、親同士の交流の場を深めながら子育てを支援する。(プロスポーツクラブとの連携)	地区内の幼児と保護者	6月～10月	7回	
	親子で絵本とわらべうた	乳幼児期における家庭内での読み聞かせは、子どもの読書習慣に大きく影響する。読み聞かせの手法や本選びを学び、わらべうたによる手遊び・歌遊びで子どもとのスキンシップを図るとともに、親同士の交流も支援する。	地区内の乳幼児と保護者	6月～7月	3回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	全市民	通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	まるごと横川	地域学講座として地元横川の魅力を紹介しながら、地域に対する理解や愛着を深めることを継続し、地域づくりに対する意識の醸成及び地域課題発見等に繋げていく。(地域課題解決への対応)	地域ビジョン検討部会委員及び地区内の一般成人	7月～8月	3回	
	横川ふれあいまつり(文化祭・農業祭)	横川生涯学習センター利用団体や地区内の各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上、農業の振興、生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	横川生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

瑞穂野地区においては、新たな団地が形成されたことによる人口増加が始まり、今後地域の発展が期待される。しかしながら、少子高齢化社会を反映して従来からの住民の高齢化や地域コミュニティの希薄化なども顕在化し、人間生活の核である家庭の重要性が一層高まってきている。こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、地域に愛着を持ってまちづくりに結びつくような事業を充実させ、地域力の向上を図る。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	少年ふるさと教室	体験学習を通し、地域の連帯感、郷土愛の育み、リーダー養成を図る。	小学生	5月～2月	3回	
	成人教育					
	自分発見講座	新しい自分に気づき、自身を磨きながら仲間づくりをし、地域デビューのきっかけをつくる。	一般成人及び高齢者	7月～10月	4回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な親子遊びを体験し、子育てに必要な知識の習得と子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。(募集方法の変更)	2～3歳児と保護者	6月	4回	
	親子チャレンジ教室	家庭で子どものしつけや教育を行うために必要な考え方や育て方について、専門家や地域のボランティアによる指導を受け学習の場とする。 親子でいろいろなことにチャレンジしながら、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。(講座周知の強化)	小学生と保護者	7月～12月	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	文化団体指導者研修	地域の実情に即応した視察を実施し、各種団体の活動を活性化させ、仲間作りや相互交流と情報交換と併せて地域づくりのリーダーとしての向上を図る。	地区内各種団体	9月	1回	
	【みずほのフェスティバル】 瑞穂野生涯学習センター文化祭 (同時開催:農業祭・福祉まつり)	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人・センター利用団体	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 城山生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

「うつのみや地域教育プラン」における基本理念の実現のために、個人の興味や関心による学習活動への支援を継続しつつ、平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方にに基づき、人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上、地域社会を支える人材育成につながる講座・事業に取り組む。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子の絆を深めるため料理実習を行う。また、地場産の食材を活用することにより、地域への関心を喚起し、季節を感じる豊かな心を育む。	小学生及び親	7月・9月・11月	3回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	子育てママのいきいきセミナー	子育てする母親が、家庭において必要とする子育て環境や教育に関する知識・技術を学ぶ講座を実施し、講座における受講者同士の交流をとおして、子を持つ親同士のネットワーク作りを促進する。	小中学生の保護者	6月～1月	5回	
	ともそだち広場	子育ての知識や技術を学び、家庭教育力の向上や健全な子育て、親同士のネットワークの構築のため、季節あそびやしつけ、体の講座などを行う。 (家庭・地域・行政のネットワーク化の促進)	概ね3歳児以下の乳幼児とその保護者	月1回	12回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	ヒト・マチづくり講座	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行う。また、実践的な活動を通して、総体的にまちづくり意識の高揚を図る。	地区内の成人	6・11月	2回	
	地域学講座★	郷土愛の醸成、住民意識の醸成を図るため、地域の伝統文化やまつりの成り立ちなどを学ぶ講座を行う。	地区内の成人	7月～8月	3回	
	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 国本生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

「平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、主に地域人材と地域資源の活用を図り、まちづくりのための「絆づくり・地域づくり」や「個人の自立」を主眼に取り組む。  
 ア 地域の人材と資源を活用し、まちづくりに繋がる人材を育成する。  
 イ 社会情勢の変化や地域課題に即応できる人間力向上に資する事業を充実させる。  
 ウ 親子や地域の人同士のネットワークを図り、絆を深めながら共に成長できる事業を実施する。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	くにもとyou遊club	地域人材が講師を務め、地域の隠れた資源を活用した体験学習(遊び)を通して、親子の絆を深め合い、地域の魅力の再発見につなげるとともに、講師等の人材のまちづくり事業への登用・活用を図る。(地域学に関する内容の充実)	地区内在住の児童及び保護者	7月～8月、12月	3回	
	成人教育					
	びびっと！レディース教室	女性として、より生き生きと(ビビッド)輝き、健康で豊かな生活を営むため、自己を見つめ、磨き、新しい自分を発見し、まちづくり事業への参加、活用など新たな行動に繋げるきっかけを提供する。	一般成人女性	10月～1月	4回	
	生き生き健康教室	「心身の健康」をテーマに、いつまでも元気で若々しく生き生きとした生活を営むために、自分自身の健康を客観的に見つめながら、必要な知識を身につける。また、参加者同士のふれあいの機会を提供することで、地域の交流の輪を広げる。	地区内在住の一般成人	8月～9月	5回	
	10倍楽しむ国本塾	地域人材を講師に、地域の貴重な歴史・文化を現地に出かけ、触れることで10倍楽しめるように紹介しながら、地域情報の共有を図り、地域再発見と地域課題を考える機会を提供する。また、まちづくり事業への参画意識の醸成も併せて目指す。(地域課題への対応)	一般成人	1月頃	4回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	親子ワクワク教室	親子で様々な体験活動を通して、子どもとふれあい絆を深めるとともに、親として子どもの心の成長や子育てに役立つ知識や技術を学習することで、家庭内での子どもに対する教育力の向上や人間形成に役立つ。	地区内在住の2・3歳児とその保護者	5月～12月	8回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	国本生涯学習センター園化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 富屋生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業展開がなされており、今後も、「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。  
 こうしたことから、平成26年度においても、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づく契機とするための地域学講座への参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため、生涯学習事業の充実に努める。  
 また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、特色ある事業を展開していく。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	少年ふるさと教室	子どもたちの自主活動を促進させるとともに、お互いの親睦を図り、団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ、併せて伝統文化や自然に関する学習機会を提供し、健全育成に資する。	富屋小学校児童等	7月～1月	7回	
	考える力アップ講座	新しい面白さを発見できる実験やものづくりを通して、子どもたちが自ら考え、身の回りにあふれる科学に対する好奇心を高める。(内容の拡充)	富屋小学校児童等	6月～11月	3回	
	成人教育					
	高齢者教室	高齢者相互の親睦とふれあいを広め、様々な課題に取り組むことにより教養を高める。	地区内の高齢者	6月～2月	5回	
	健康づくりハイキング	ハイキングを通じて健康増進と地域住民の交流を図る。	地区在住者	5月	1回	
	地域学講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。(地域課題への対応)	地区内の成人	未定	2回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	地区内の就園前の乳幼児とその保護者	6月～12月	6回	
	ゆるりん子育て親育ち講座	就学前の子どもを持つ保護者が、子育ての悩みに関するグループワークなど子育てに関する情報交換を行なうことを通して、自分に合った子育てを考える機会を持つことを体験し、親同士のネットワーク作りを促進し、家庭や地域における教育力の向上を図るきっかけとする。(講座回数の見直し)	就学前の子どもを持つ保護者	6月～7月	3回	
	家庭教育学級	家庭における子どもの教育を行なうために必要な考え方や育て方についての知識や技術を学習する。	地区内の児童保護者と関心のある成人	未定	3回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	とみや女性学★	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通し、地域のネットワークを広げるとともに、富屋地区のブランドを発掘、発信していくリーダー的な人材を養成し、女性の力で地域力アップを図る。	地区内の女性	4月～12月	8回	
	とみやふるさとまつり(センター文化祭)	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 豊郷生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

豊郷地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開されている。しかし、地域住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、少子高齢や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力の低下など、様々な課題も生じている。このようなことから、地域ぐるみで子どもを育てる意識付けや、絆づくり・地域づくりに繋がる事業を推進するため、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、学ぶことの喜びや仲間づくりに繋がる趣味・教養的な講座を実施し、人間力・地域の教育力の向上など、学んだ成果を地域活動に結びつくきっかけとなるような事業を展開する。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験が、生きる力を育み、人間力の向上を培うことから、ものづくりや自然体験・遊びなど多様な体験を通し、自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校3～5年生	5月～11月	6回	
	成人教育					
	とよさと元気塾	情報化・国際化・少子高齢化と社会環境の変化の加速度が増している中で、高齢者が変化に適応し、心豊かに生活できるよう生活に役に立つための知識や技能を身につけるとともに、健康づくり生きがいづくりを支援する。	地区内在住60歳以上の市民	5月～11月	6回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	子育て広場	子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。 (定員数の設定変更)	就学前の乳幼児と保護者	5月～12月	7回	
	親育ち講座	家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。(父親も参加可能なプログラムの増加)	1～3歳の子を持つ保護者	9月～11月	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶとともに、地域の特徴や資源を発見し、それを活かした地域の活動につなげるとともに、学びを通じた仲間づくりを目指す。	地区内在住の市民	6月～11月	5回	
	豊郷まつり (センター文化祭)	センター利用団体の学習成果の発表	豊郷生涯学習センター 利用団体	11月	1回	
	成人式	新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 篠井生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

篠井地区は、豊かな自然に恵まれ古くから世代間の交流を大切にし、歴史と伝統に守られてきた地域です。また、篠井ニュータウンの新たな人も加わり、まちづくりの活動を通じて人と人の輪が広まってきました。  
 学びを通して豊かな人間性を育み地域教育の向上を図るため、地域再発見など環境や地域素材を学ぶ体験的な事業に取り組むなど一層講座内容を充実させ、一人一人の暮らしの中に彩りのある「元気で魅力ある篠井」を目指します。  
 さらに、学習成果を地域づくりに結びつけ、新しい地域リーダーの育成を図ります。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	少年大空教室 (ホップ・ステップ・しのいっこ)	郷土の伝承、文化、自然に関する学習活動や心身の成長を促し、郷土愛の醸成を図る。 (講座周知の強化)	篠井小在籍児童	8月～2月	7回	
	成人教育					
	輝き人生教室 (高齢者教室)	余暇の有効活用、健康の維持増進、世代間交流を通して健康で生き甲斐のある充実感溢れる生活を送る力を身につける。	地区内高齢者	6月～2月	10回	
	地域力アップ教室	地域がよりいっそう成長できる元気になるきっかけづくりとして、地域内にある豊かな資源を、地域住民が認識・学習しまちづくりに活かせる人材を育成する。 (地域イベントとの連携)	一般成人	7月～11月	5回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	shinoiスマイルファミリースクール	家庭において子どもの教育を行うために、考え方や育て方について必要な知識や技術を身に付け、親子ともに参加できる体験学習を通し親子のふれあいの場を提供する。	地区内小学生とその保護者	7月～11月	4回	
	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め、心身の健康を育むとともに受講生の交流を促進し、教育機関との連携を図りながら親力の向上に繋げる。 (講座周知の強化)	0歳～未就学児	6月～10月	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	篠井生涯学習センター園化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 姿川生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

当地区は、「将来ビジョン」に掲げた将来像(方向性)を実現するため、地域が抱えるさまざまな課題への取り組みを地域と行政が協働して実現する必要がある。そこで、身近にまちづくりを感じてもらえる内容の講座や地域の人材を多く活用する講座を開講し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高めるとともに、地域力の向上も図っていく。

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	姿川ふるさと教室	郷土の伝承・文化自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通し、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域への情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。(講座回数・内容の見直し)	地区内の小学4年生	7月～10月	5回	
	成人教育					
	シニア倶楽部	知識の習得、趣味、レクリエーション等を通して、高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めるとともに、受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。また、地域内の社会資源や「姿川地区人材バンク」を活用し、まちづくりの意識醸成を図るための事業展開を図り、それを通し、まちづくり活動のきっかけづくりの場を提供する。	地区内60歳以上の男女	8月～10月	5回	
	タブレット型パソコン教室★	初心者を対象にタブレット型パソコンの基本知識を習得し情報化社会に関する学習機会の提供を図る	地区内一般成人	5月	4回	
	姿川歴史教室★	地区内の遺跡や文化財マップなどを取り入れた「姿川さんぽ」を活用し、「姿川地区の歴史教室」を開催する。地区内の歴史・文化を知ることにより地域の文化活動をPR、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	地区内一般成人	9月	4回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	子育て広場★	子育ての学習やレクリエーションを通じて子ども同士、親同士の交流を深める。保育士との連携も深め、内容の充実を図る。	地区内の未就学児とその保護者	未定	未定	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	男の料理教室	身近なところで活躍されている方を講師に招き、「地域活動をはじめたい」「セカンドライフを充実させたい」「自分の住む地域と関りたい」と考えている方々に、“地域デビュー”の契機となる事業とすることを目的とする。	地区内一般成人	1月	1回	
	姿川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般市民及び姿川生涯学習センター利用団体	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 雀宮生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

雀宮地区においても、少子高齢化や都市部での核家族化の進行により、家庭の教育力の低下や、防犯、地域福祉など、地域社会やまちづくりにおいて、新たな課題が生じている。  
 また、市民が持つ豊富な知識や経験をより良い地域社会の創造につなげていくため、市民一人ひとりの学習成果が活きる生涯学習活動を促進することが重要となっている。  
 こうしたことから、幅広い市民の学ぶことへの意欲に応え、誰もが自己実現に向けた取り組みができるよう、生涯にわたる学習活動を促進し、学びを通して豊かな人間性を育み、子どもの育ちや地域社会を支える「人づくり」を進めていく。  
 特に地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域教育力の向上」、次代を担う青少年が心豊かにたくましく自立し、将来の人生に夢や希望をもって成長していくことができるようになるための「健全な青少年の育成」などに取り組んでいく。  
 平成26年度においては、雀宮地区の地域特性を活かし、地域の学校や企業等との連携によるものづくりなどの体験学習を通して、青少年のリーダーとなる人材の育成と地域ぐるみで子どもを育てる意識の醸成を図る。

事業名に★が付いているものは平成25年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	青少年セミナー教室	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまづくりや班編成による役割分担を決めることで、連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。	雀宮地区内の小学生	7月～11月	5回	
	雀宮ものづくりスペシャル	雀宮地区の特性を活かし、陸上自衛隊宇都宮駐屯地、県立宇都宮工業高等学校等と連携し、ものづくりなどの体験学習を通して知識や技術を習得することで自立心の向上やリーダーシップ精神を育む。また、同世代や親子の「絆」をつなげ、連帯感など地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生	7月, 11月	2回	
	成人教育					
	ひまわり学級(高齢者教室)	豊かな経験を引き続き社会に活かし、さらに新しい知識や趣味を会得することで、健康で生きがいのある豊かな人生を送るために必要な学習をする。(事業の早期開催)	雀宮地区内の60歳以上の方	6月～10月	5回	
	さわやかライフセミナー(コンサート含む)	一般成人を対象として、現代的課題などの様々なテーマについての学習機会を設けることにより、市民が自己実現のための学習や文化活動を通して、豊かな人間性を獲得し、まちづくりに寄与できるようにする。	雀宮地区内の一般成人	6月～11月	6回	
	雀宮学	フィールドワークの実施により、地域の魅力や課題発見するとともに、参加者の交流を深めることで、まちづくり推進に向けた取組みのきっかけとする。地域のイベント時に併せて実施することで対象範囲を拡大していく。	雀宮地区内の一般成人	11月	1回	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	親子ふれあい広場	少子化社会に対応し、家庭における子どもの教育を行うために必要な考え方や育て方についての知識や技術を身につけ、「親子の絆」を育むとともに、家庭教育力の向上を図る。	雀宮地区内の未就学児とその保護者	6月～11月	6回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	雀宮地域文化祭	雀宮生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	雀宮生涯学習センター利用団体	11月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 上河内生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

激しく社会環境が変化する現代において、誰もが心豊かに生活できる地域社会づくりを推進するため、地域の特色を活かし人づくりの基本となる家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実に努める。  
 さらに、地域の課題解決に向けた事業や地域で活躍できる人づくりの充実に努めるとともに、学んだ人材が学習成果や経験を地域に還元できるような事業を推進する。  
 (1) 子育て世代を中心とした家庭教育事業の充実  
 (2) 市民のニーズに対応した成人教育事業の充実  
 (3) 地域資源などを活かした魅力ある事業の実施

事業名に★が付いているものは平成26年度新規事業

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	子どもチャレンジ教室★	子どもたちに様々な学習機会を提供し、体験をとおしてものを作る楽しさや新たな発見をすることにより創造性と自立心を養う。 (対象年齢ごとの講座内容)	小学生	7月～8月	3回	
	成人教育					
	ライフアップセミナーinかみかわち	多様化した学習ニーズに対応するため、様々なテーマについて学習機会を提供し、幅広い知識や教養を身につけ豊かな人間性を養う。	一般成人	7月～12月	8回	
	心を開くコミュニケーションPART2	日常のコミュニケーションのとり方を学び、より良い人間関係を築けるよう支援する。	一般成人	10月～11月	6回	
	方丈記から学ぶ生き方	方丈記の内容をとおして、人々がどのように天変地異と向き合い生きてきたかを読み解き、自らの生き方を振り返り考える。	一般成人	5月～7月	5回	
	メンズクッキング	料理をとおして食に対する興味や健康への関心を高めるとともに、共同で作る楽しさを学び円滑な人間関係を支援する。	一般成人(男性)	6月～12月	6回	
	ふれあいパソコン教室	パソコンの基本的な操作をはじめ、文書作成や表計算など日常生活の中で活用できる技術を習得する。	一般成人	6月～11月	4テーマ(各3回)	
	ほほえみ塾出前講座	地域住民の多様な学習ニーズに応え、公民館を会場に出前講座を実施し、生きがいづくりや仲間づくりを支援する。	一般成人	未定	随時	
市民運営講座	生涯学習コーディネーターの企画運営講座	一般成人	未定	未定		
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	子育て広場	遊びやレクリエーション等をおして親子の絆を深めるとともに、受講生同士が交流を図るなど子育てを支援する。	就学前の乳幼児と保護者	6月～11月	5回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時		
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	上河内地域文化祭□	幼稚園・小中学校の児童生徒の作品展示及び生涯学習センター利用団体が日ごろの学習成果を発表することにより、地域文化の向上と生涯学習を推進する機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	10月	1回	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

平成26年度 河内生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

地域の特色を活かしながら、人間力の向上や家庭・地域の教育力の向上に資する事業の充実に努める。  
 地域で活躍できる人材の積極的な育成や学習成果を地域で活かせるような機会と場の創出に努めるとともに、地域に目を向け、地域の魅力や課題に気づききっかけとなるような事業の充実に努める。  
 (ア) 市民一人ひとりが、人間力の向上が図れるよう、社会の要請に対応したテーマを取り入れながら「成人教育」の充実に努める。  
 (イ) 子どもの年齢に応じた「家庭教育支援講座」を推進する。  
 (ウ) 子どもの国際理解教育を推進する。  
 (エ) 「生涯学習コーディネーター」や「託児ボランティア」など、地域で活躍できる人材のレベルアップを図り、活躍の機会と場を提供する。  
 (オ) 地域の人たちが地域の魅力や課題に気づき、郷土愛の醸成や課題の解決に結びつくような事業を実施する。

重点項目	事業区分		事業の概要			
	事業名	内容	対象	時期	回数	
①人間力の向上に資する事業の充実	青少年教育					
	少年少女のオモシロ夏休み	小学校高学年の児童を対象に、充実した夏休みを計画的に生活させることを目的に講座を開設する。	小学校4～6年生	8月	4日	
	こども国際理解教室	栃木県に在住する外国人(留学生など)と接し、その国の様子(言葉、服装、食べ物等)についての話やゲーム、おやつ作り等の体験的活動をとおして、国際理解・協力の大切さを知るきっかけ作りをする。	小学校5・6年生	7月	4日	
	成人教育					
	ふれあい学級	高齢者がお互いの連帯感を深め、学びあい励ましあって生き甲斐のある人生を送ることを目的とする。	60歳以上	5月～2月	10回	
	かがやきセミナー	健康で豊かな生活をおくるため、社会の一般的な知識を学ぶとともに郷土の歴史を探求し、郷土愛を深める。	20歳以上	5月～2月	10回	
	新春講演会	知識・文化人から新年にふさわしい講話を聴講し、健康で心豊かに幸せな生活がおくれるよう学習の機会を提供する。(講演会を予定):公開講座とする。	ふれあい学級・かがやきセミナー受講生及びその他一般成人	1月	1回	
	パソコン入門講座	パソコンの基本操作や文書の作成などを習得し、社会活動や仕事に活用することを目的とする。	20歳以上	4月～6月	10回	
	美と健康きらめき講座	自身の健康・生活・言葉・マナーなど、さまざまな分野で女性がステキに輝ける知識、教養を、実体験を交えながら習得する。	20歳以上の女性	6月～7月 10月～12月	前3回 後3回	
	男の料理入門講座	健康を維持するための家庭料理や家族団らんのもてる料理づくりを目的とする。(講座回数の増加)	20歳以上の男性	5月～6月	7回	
	市民運営講座「こころの体操講座」	生涯学習コーディネーターの企画運営講座	20歳以上	6月～8月 未定	前3回 後未定	
②家庭・地域の教育力の向上に資する事業	家庭教育					
	親子チャレンジ教室	親子参加型の遊びやスポーツなど様々な体験をとおして、親子の絆を深め、参加者相互の意見交換等により、家庭教育のあり方を学ぶ。	小学校1～6年生とその保護者	5月～6月 7月～8月 8月～1月	I 3回 II 3回 III 8回	
	子育て広場	「心・体・健やか」をテーマに、親が乳幼児期の大切を認識した子育てができるようにする。子ども同士が係わり合い、子どもの世界を広げ、親と子が良い関係を築けるように学習する。	乳幼児とその保護者	4月～1月	10回	
	ワクワク子育て講座	就学前の幼児を持つ親を対象に、子育てに関する知識と、親子、親同士のコミュニケーションを図ることにより、楽しく子育てができるよう学ぶ。※託児あり(開催期間の見直し)	就学前の幼児を持つ保護者	6月～11月	6回	
③学習情報拠点としての充実	情報収集・提供					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	
	学習相談・地域支援					
	学習相談・地域支援	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		通年	随時	
④地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進	地域における学習活動の推進					
	託児ボランティア研修	乳幼児の接し方について研修するとともに、ボランティア活動の意義、託児ボランティア同士の相互理解と親睦、託児業務の共通理解を図っていく。	託児ボランティア登録者及び興味のある方	2月	1回	
	河内地域文化祭	地域の祭典として、幼稚園・小中学校の児童生徒の出展、地区文化協会及び河内生涯学習センター利用団体及び個人の学習成果の発表の場とする。	団体及び一般市民	11月	2日	
	成人式	新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	新成人	1月	1日	

## 生涯学習コーディネーター制度の見直しについて

### ◎ 趣 旨

本市が実施している生涯学習コーディネーターの育成及びあり方等に関する制度の見直しについて協議するもの

### 1 経 緯

- (1) 生涯学習ボランティア制度の導入（平成13年度～21年度）※ 養成は平成17年度まで
  - ⇒ 活動の場：中央生涯学習センター
  - ⇒ 役 割：市民大学の企画・運営
- (2) 生涯学習コーディネーター制度へ移行（平成18年度～21年度）
  - ⇒ 活動の場：東・西・南・北生涯学習センター（平成20年度～河内・上河内が追加）
  - ⇒ 役 割：各センター主催講座の企画・運営
- (3) 生涯学習コーディネーター制度の再整理（平成22年度～）
  - ① ⇒ 活動の場：人材かがやきセンター
    - ⇒ 役 割：市民大学の企画・運営，運営ボランティア
  - ② ⇒ 活動の場：中央・東・西・南・北・河内・上河内生涯学習センター  
（市民活動センター併設センター等7か所）
    - ⇒ 役 割：各センター主催講座の企画・運営

### 2 現状と問題点

- (1) 各生涯学習センター間におけるコーディネーター活動・環境の差異
- (2) 各生涯学習センター主催講座における活動機会の不足
- (3) 市民活動センターと地区市民センター間でのコーディネーター配置の差異
- (4) 市民大学におけるコーディネーター企画講座の停滞化

### 3 課 題

- (1) コーディネーターの活動等に関する基準の再整理 ⇔ 【2 現状と問題点(1)】
- (2) 活動機会の拡充・創出につながる仕組づくり ⇔ 【2 現状と問題点(2)(3)】
- (3) 市民大学への参画促進のための仕組づくり及び人材育成 ⇔ 【2 現状と問題点(4)】

### 4 今後の対応の方向（案）

#### (1) 基本的な考え方

上記の現状と課題を踏まえ、事業を効果的に推進するために、中長期的な視点で根本解決につながる抜本的な見直しを図る。

平成26年度においては、生涯学習コーディネーター養成講座は実施せず、本事業の新たな制度設計に向けて、具体の施策検討を行う期間とする。

## (2) 具体的な対応の方向

- ① 宇都宮市生涯学習コーディネーター設置要領の作成 ⇔ 【3 課題(1)】
  - ・ 適正人数・活動年数の再検討, コーディネーターの役割と責任の明確化
- ② コーディネーターの全市的な活動機会拡充・創出の検討 ⇔ 【3 課題(2)】
  - ・ 市民運営講座等のコーディネーター企画機会の再検討
- ③ 市民大学企画講座の活性化及び人材育成の強化 ⇔ 【3 課題(3)】
  - ・ 地域で活動するコーディネーターの市民大学への取り込み

## 5 今後のスケジュール (案)

H26. ～8月 現状と課題の整理・具体策の検討

- ・ 全18生涯学習センターへのヒアリング
- ・ コーディネーターとの意見交換等

10月 生涯学習センター運営審議会へ付議

## 平成25年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況等について

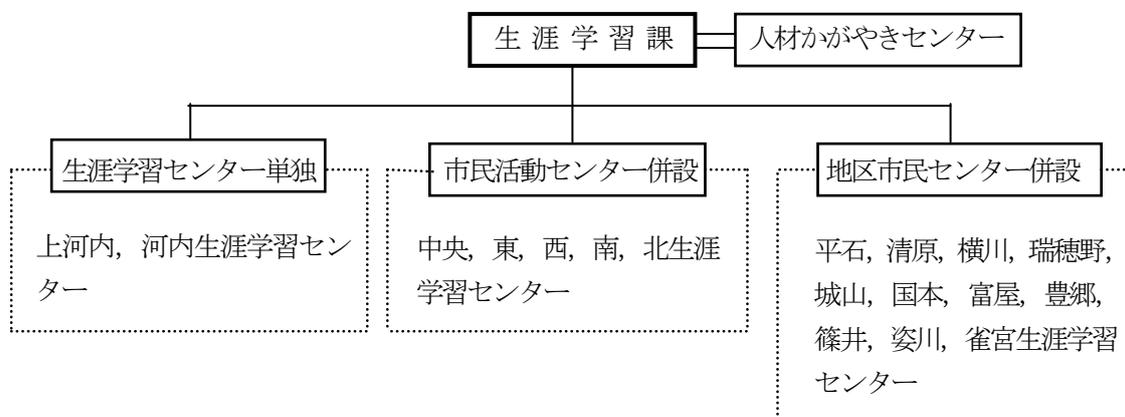
## ◎ 趣 旨

「平成25年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況」及び「平成26年度人材かがやきセンター主催講座の実施予定」について報告するもの

## 1 人材かがやきセンターの設置

人材かがやきセンターは、全市的、広域的な範囲を対象とすることが必要な事業や、今後、各生涯学習センターでの事業展開を見据えた先駆的な講座プログラムに取り組むとともに、生涯学習コーディネーターの養成や担当職員研修の実施など、地域教育の推進拠点としての役割を担っています。

[ 組 織 図 ]



## 2 平成25年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況

## (1) 実施期間

ア 前期講座 平成25年 5月15日(水)～平成25年9月25日(水)

イ 後期講座 平成25年10月 2日(水)～平成26年2月 5日(水)

## (2) 実施講座

⇒ 別紙1「平成25年度人材かがやきセンター主催講座実施状況一覧表」のとおり

## (3) 受講者数

ア 前期講座 224名

イ 後期講座 162名 計 386名

## 3 平成26年度人材かがやきセンター主催講座の実施予定

## (1) 実施期間

平成26年5月～平成27年1月

## (2) 実施講座

⇒ 別紙2「平成26年度人材かがやきセンター主催講座実施予定一覧表」のとおり

平成25年度人材かがやきセンター主催講座実施状況一覧表 (前期)

No.	講座名	講座概要	開催日	講師	定員	受講者数
1	先人の生き方に学ぶ大人の道徳時間 ～没後100年 田中正造の行動とその思想に学ぶ (全3回)	人間力を高めるために、本県出身の偉人、田中正造の生き方や思想を学び、どのようにして自分の生活や地域社会の中で生かせるかを学ぶ。	5/15(水) 5/23(木) 5/29(水)	(1)(2)宇都宮市文化財保護審議委員会委員 大嶽 浩良 氏 (3)市社会教育主事(藤田)	40	48
2	「宮の朝活」はじめます！ (全5回)	多忙な20代から40代の就労世代を対象に、早朝の時間帯を活用して、政治・経済など各分野における最新の時事問題や喫緊の課題について、大学教授などから学ぶ。	6/21(金) 7/5(金) 7/19(金) 8/2(金) 8/30(金)	(1)帝京大学 経済学部 教授 黒崎 誠 氏 (2)作新学院大学大学院 心理学研究科 教授 伊達 悦子 氏 (3)文星芸術大学 教授 林 香君 氏 (4)宇都宮大学大学院 教授 森本 章倫 氏 (5)宇都宮市長 佐藤 栄一 氏	30	44
3	思春期の心を受け入れる～さまざまな相談事例をもとに～ (全1回)	主に思春期の子をもつ保護者や関心のある方、学校支援ボランティア、青少年指導員などの地域活動に関わっている方などを対象に、思春期の心を受け入れるために、親として、地域の大人としてのかかわり方を見直し、子どもの自立への支援について学ぶ。	7/7(日)	(1)栃木県連合教育会 相談部長 丸山 隆 氏	50	31
4	より良く生きる!! ～シニアの「縁活」始めませんか！ (全3回)	講義や死の疑似体験などとおして、これまでの生き方を振り返るとともに、地域活動事例を学び、これからのより良い生き方について考える。	7/9(火) 7/18(木) 7/23(火)	(1)宇都宮大学 地域連携教育研究センター 教授 廣瀬 隆人 氏 (2)古河市健康福祉部福祉総務課 自立生活支援相談員 栗本 孝雄 氏 (3)宇都宮市まちづくりセンター センター長 安藤 正知 氏	30	35
5	ガマンしない！モヤモヤしない！～さわやかな自己表現をめざして～ (全3回)	認知行動療法の視点から、自分の思考パターンを理解し、講義などとおして自分も相手も大切にする自己表現について学ぶ。	8/7(水) 8/21(水) 8/28(水)	(1)(2)(3)宇都宮大学教育学部 総合人間形成過程 准教授 白石 智子 氏	30	31
6	現代版「井戸端会議」から深まる地域の絆 (全3回)	歴史教養の講義や市民研究員の事例発表などとおして、地域コミュニティの重要性を学ぶ。	9/11(水) 9/18(水) 9/25(水)	(1)宇都宮大学 教育学部 教授 渡邊 弘 氏 (2)市政研究センター 研究員 坂本 文子 氏 (3)明保地区明るいまちづくり協議会 会長 島田 弘二 氏	30	35
前期合計					210	224

平成 25 年度人材かがやきセンター主催講座実施状況一覧表 (後期)

No.	講座名	講座概要	開催日	講師	定員	受講者数
1	親学講座 親としての「幸せのカタチ」 (全3回)	簡単に実践できる「子どもとの向き合い方」を学ぶとともに、ワークショップを通して、日頃の子育てを振り返り、今後の子どもとの関わり方について考える。	10/2(水) 10/9(水) 10/16(水)	(1)カラーセラピー 石山直子 氏 (2)家庭教育オピニオンリーダー会 鶴見 智穂子 氏 (3)親学習プログラム指導者 小池 操子 氏 (4)市社会教育主事 (高田)	24	20
2	蒲生君平没後200年 蒲生君平の生き方や考え方に学ぶ (全1回)	宇都宮市出身で栃木県の三偉人の一人である蒲生君平について、「七つの顔」をキーワードにその生き方や考え方を学び、人間力の向上や郷土愛の醸成を図る。	10/10(木)	(1)宇都宮市立田原中学校副校長 博士(文学) 阿部邦男 氏 (2)蒲生君平没後二百年祭記念実行委員会 事務局長 小林暁雲 氏	40	40
3	家庭教育サポーター養成講座 (全4回)	交流機会や学習機会に参加せずに孤立している保護者への対応として、個に応じたきめ細かな支援をボランティアとして行う人材を養成する。	11/6(水) 11/13(水) 11/20(水) 11/27(水)	(1)市社会教育主事 (高田) (2)子ども発達センター保健師 (3)子どもの家子育て支援事業指導員, 市社会教育主事 (4)家庭教育サポーター, 市社会教育主事 (高田)	30	20
4	「宮の朝活」第2弾! ~朝活で愉快だ宇都宮~ (全4回)	第1弾に引き続き、早朝の時間帯を活用して、今、うつのみやのまちなかに新しい波をおこしている「まちなかの仕掛人!」などから学ぶ。学習テーマは、第1弾の受講者7名が企画委員として参加し決定した。	11/22(金) 11/29(金) 12/6(金) 12/13(金)	(1) (株) グリーンデイズ 代表 林 書緯 氏 (2) (株) ワイズティーネットワーク 代表 根本 康昌 氏 (3) (株) マチヅクリ・ラボラトリー 代表 村瀬 正尊 氏 (4)下野新聞社宇都宮まちなか支局 支局長 田中 勝 氏	40	40
5	中1ギャップは怖くない ~そのとき親が地域ができること~ (全2回)	主に小学6年生や中学1年生の保護者、学校支援ボランティアとして活動している方を対象に、「中1ギャップ」に関する様々な実態やこの時期特有の子どもの心理について学び、親として、地域の大人としてサポートできることや「そのとき」における対応の仕方について学ぶ。	1/29(水) 2/5(水)	(1)臨床心理士 山岡 祥子 氏 (2)宇都宮市立陽東中学校 メンタルサポーター 山崎 匡 氏	50	42
後期合計					184	162
合 計					394	386

平成 26 年度人材かがやきセンター主催講座 (予定)

No.	講座名	講座概要	開催月
1	「宮の朝活」つづけます！ ～朝活で愉快だ 宇都宮～ (前期)(全 5 回)	日頃多忙な 20 代から 40 代の学生や主婦、ビジネスマンなどを対象に、早朝の時間帯を活用して学習機会を提供する。講座では就労世代に関心の高い分野や時事問題等の講義のほか、朝食を取りながら受講者同士の異業種間交流なども図る。	5 月～ 6 月
2	～宇都宮ゆかりの偉人～ 蒲生君平の生き方や考え方に学ぶ (全 2 回)	宇都宮市出身で栃木県の三偉人の一人である蒲生君平を広く知ってもらうことで、生き方や考え方を学び、人間力の向上を図るとともに、郷土愛の醸成を図る。	6 月～ 7 月
3	思春期の心を受け入れる ～さまざまな相談事例をもとに～ (全 1 回)	主に思春期の子をもつ保護者や関心のある方、学校支援ボランティア、青少年指導員などの地域活動に関わっている方などを対象に、思春期の心を受け入れるために、親として、地域の大人としてのかかわり方を見直し、子どもの自立支援について学ぶ。	7 月
4	見る・知る・学ぶ ～自転車で巡る 宇都宮の魅力再発見～ (全 3 回)	まちなかについての講義や、本市に拠点を置くプロサイクルチームメンバーとともに巡る「まちなか散策」を通して、本市の魅力を再発見することで郷土愛を深め、さらに外に向けて本市の魅力を発信してもらうことを目的とする。併せて、自転車安全走行の知識も学ぶ。	7 月
5	怒りと上手につきあうコツ ～アンガーマネジメント～ (全 3 回)	職場や家庭内でのコミュニケーション力を向上させるとともに、それらを社会生活に生かすため、自分自身の怒りやストレスなどの感情をコントロールするための手法を学ぶ。	8 月
6	親学スペシャル講演会 (全 1 回)	スクールカウンセラーや子育て支援活動を精力的に行っている専門家を招き、子どもの自己肯定感の育成や発達段階、特に思春期の子どもへの対応等についての講演会を開催し、家庭教育支援の促進を図る。	8 月
7	お・も・て・な・しは最高の笑顔から ～異文化コミュニケーションを楽しもう～ (全 3 回)	受講生が受講後に、機会を捉えて気軽に異文化交流ができるようになることを目的とし、異文化への理解や国際交流活動の事例、交流の魅力などについて学ぶ。	9 月
8	親学講座 親としての「幸せのカタチ」 (全 3 回)	簡単に実践できる「子どもとの向き合い方」を学ぶとともに、ワークショップを通して、日頃の子育てを振り返り、今後の子どもとの関わり方について考える。	10 月
9	「宮の朝活」つづけます！ (後期) (全 4 回)	前期に引き続き、早朝の時間帯を活用し、実施する。学習テーマは、前期受講者の中から企画委員を選出し、企画段階から参画してもらい決定していく。	11 月
10	家庭教育サポーター養成講座 (全 4 回)	交流機会や学習機会に参加せずに孤立している保護者への対応として、個に応じたきめ細かな支援をボランティアとして行う人材を養成する。	11 月
11	中 1 ギャップは怖くない ～そのとき親が地域ができること～ (全 2 回)	主に小学 6 年生や中学 1 年生の保護者、学校支援ボランティアとして活動している方を対象に、「中 1 ギャップ」に関する様々な実態やこの時期特有の子ども心理について学び、親として、地域の大人としてサポートできることや「そのとき」における対応の仕方について学ぶ。	1 月

宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況等について

◎ 趣旨

「平成25年度宇都宮市民大学(後期講座)の実施状況」及び「平成26年度宇都宮市民大学(前期講座)の実施予定」について報告するもの

1 平成25年度宇都宮市民大学(後期講座)の実施状況

(1) 合同開講式・公開講座

ア 日 時 平成25年10月24日(木) 午前10時～正午

イ 会 場 宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館

ウ 内 容 ・合同開講式

・公開講座 演題 「韓流ドラマが映し出す 現代韓国社会と文化」

(4) 講師 崔 寶允(チェ・ボユン)氏(宇都宮大学 国際学部 講師)

エ 受講者数 180名

(2) 専門講座

No.	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数	修了者数 (修了率)
1	I ふるさと地域学コース 里山の今、そして未来 ～人と自然が折り合う空間の 再発見～ (全7回)	・宇都宮大学 農学部 教授 山本 美穂 氏 教授 大久保 達弘 氏 教授 飯郷 雅之 氏 教授 平井 英明 氏 附属里山科学センター 科学技術 振興研究員 平井 雅世 氏 ・宇都宮大学 教育学部 准教授 佐々木 和也 氏 ・宇都宮大学 雑草科学センター 准教授 西尾 孝佳 氏	11/14 ～ 12/19	(30) [54] 44	33 (75.0%)
2	I ふるさと地域学コース 仏像から宇都宮の歴史・文化を 探る (全7回)	・宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良 氏 ・小杉放菴記念日光美術館 顧問 北口 英雄 氏	10/31 ～ 12/12	(70) [122] 85	74 (87.1%)
3	II 今を読み解く現代社会コー ス シニアの健康 ～笑いは人生 元気のみなも と～ (全8回)	・医師 松本 光正 氏 ・日本笑い学会 講師 藤井 敬三 氏 ・ストレスカウンセラー・生活心理士 兼子 裕子 氏 ・社会人落語家 平井 幸雄 氏 ・僧侶・陶芸家 柴田 宋休 氏	10/29 ～ 12/10	(50) [77] 68	55 (80.9%)
4	III 暮らしを彩る教養・文化コー ス 宇都宮の文化・工芸アーティスト たち ～温もりを感じる、そこにも づくりの繊細さが同居して～ (全7回)	・日展会友 日工会評議員 陶芸作家 谷口 勇三 氏 ・拓版画家 坂本 富男 氏 ・クイーン洋菓子店 オーナーパティシエ 大濱 幸雄 氏 ・とらっとりあ天野 シェフ 齋藤 朋一 氏 ・栃木県立小山北桜高等学校 元校長 高垣 由男 氏 ・青源味噌株式会社 社長 青木 敬信 氏	10/28 ～ 12/16	(50) [46] 45	41 (91.1%)

No.	講座名(開講数)	講師	開催期間	(募集定員) 〔応募者数〕 受講者数	修了者数 (修了率)
5	Ⅲ 暮らしを彩る教養・文化コース 現代アート入門講座 ～アートを楽しみ、アートでまちを生き活きと!～ (全9回)	・東京都現代美術館 (MOT) チーフ・キュレーター 長谷川 祐子 氏 ・株式会社柿沼事務所 代表 書家 柿沼 康二 氏 ・文星芸術大学 学長 上野 憲示 氏 ・文星芸術大学 美術学部 教授 林 香君 氏 ・アーテスト タムラ サトル 氏 ・東京大学大学院 隈研吾研究室 マッテオ・ベルフィオーレ 氏 ・クリエイティブ・ディレクター 仲原 正治 氏	10/25 ～ 12/20	(50) [50] 48	28 (58.3%)
6	Ⅳ コミュニケーション学コース 宇都宮ゆかりの『小倉百人一首』から学ぶコミュニケーション ～今こそ詠みたい!三十一文字のラブレター～ (全6回)	・宇都宮かるた会 会長 加藤 光伸 氏 ・國學院大學栃木短期大学 日本文化学 科 教授 林田 孝和 氏 ・月刊誌「短歌たかむら」 編集長 高橋 淑乃 氏	11/1 ～ 12/6	(30) [25] 21	17 (81.0%)
計				(280) [374] 311	248 (79.7%)

※各専門講座の(開講数)は、合同開講式・記念講演会を含む。修了率は4分の3以上の出席者。

## 2 平成26年度宇都宮市民大学(前期講座)の実施予定

### (1) 合同開講式・公開講座

ア 日 時 平成26年5月24日(土) 午前10時～正午

イ 会 場 文星芸術大学 大講義室

ウ 内 容 ・合同開講式

・公開講座 演題 「マンガを知る ～大学でマンガを学ぶこと～」

(4) 講師 田中 誠一氏 (文星芸術大学 美術学部 美術学科 マンガ専攻)

### (2) 専門講座

ア 開催期間 平成26年6月から7月まで

イ 会 場 人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)

ウ 募集期間 平成26年4月1日(火)～14日(月)

エ 実施講座 下表のとおり

No.	専門講座名	主な講師	募集定員
1	下野における戊辰戦争 ～宇都宮戦争を中心に～	宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良 氏	50
2	『小倉百人一首』の歴史学 ～縁は愉快だ 宇都宮～	日本大学 文理学部 教授 関 幸彦 氏 ほか	50
3	知って得する 気象講座 ～天気の見方と自然災害～	宇都宮地方気象台 防災管理官 ほか	50
4	夢への挑戦 陸!海!空! ～その発想とプロセスを学ぶ～	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 助教 ほか	50
5	『水』ふしぎの世界【大学連携講座】 ～水の特性とスポーツ・食・芸術との関わり～	文星芸術大学 教授 島野 安雄 氏 ほか	50
6	下野薬師寺を探る ～古代東国仏教の中心寺院～	栃木県考古学会 会長 橋本 澄朗	50
計			300